

博士後期課程Ⅱ期

令和3年度

武蔵野大学大学院 文学研究科 博士後期課程 入学試験問題 (1月10日)

[専門科目]

次の①、②、③、④、⑤、⑥から2つを選択して、それぞれの設問について答えなさい。

(1問につき800字程度を解答の目安とする。なお、解答は別紙の解答用紙に記入すること。筆記用具は黒のボールペンを使用してください。)

- ① 添付資料(写本)をよく読み、この崩し字を全て翻刻しなさい。次に、その作品名と作者を明らかにした上で、当該作品の特質について説明しなさい(翻刻と説明を合わせて800字程度)。
- ② 日本古典文学のうち、平安時代の物語と鎌倉・室町時代の物語それぞれの特質と、その間の展開について説明しなさい。
- ③ 日本の伝統的な芸能について、具体例を一つ以上挙げ、東アジアの芸能と比較してその特質を説明しなさい。
- ④ 日本古典文学のうち、江戸時代の俳諧の特質とその展開について説明しなさい。ただし、説明の中で貞門、談林、蕉門それぞれの作風には必ず触れること。
- ⑤ 「音読から黙読へ」ということを軸に、日本の近代文学の成立について具体的に述べなさい。
- ⑥ 21世紀における文学研究の意義を、自身の専門分野の立場から具体的事例に基づいて述べなさい。